

1. 地 勢

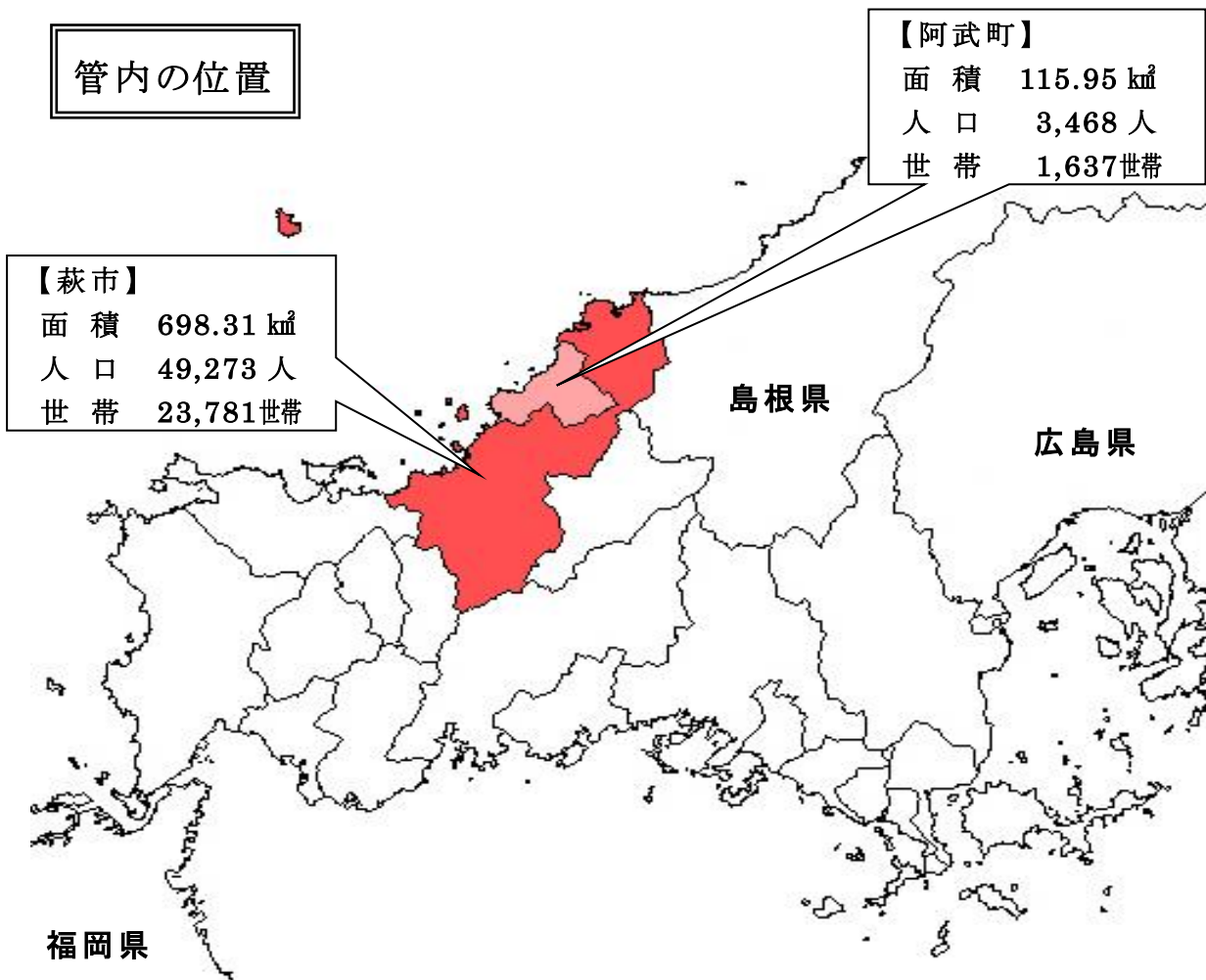
萩市は、山口県の北部に位置し、総面積は 698.31 k m²で、県土の 11.4%を占めます。北部は日本海に面し、東部は益田市及び津和野町（島根県）、南東部は山口市、西部は長門市及び美祢市に接しています。

地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高 700mを超える山々が連なっています。低地は少なく、二級河川阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られる丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖あいには、大島、相島、櫃島、羽島、肥島、尾島の六つの平らな火山島が浮かび、約 45 km先には見島があります。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島で、市全体の海岸線延長は約 151kmです。

気候は、沿岸部においては対馬海流の影響を受けて比較的温暖であり、中山間部においては盆地特有の気候で、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。

なお、当市は阿武郡阿武町から常備消防に関する事務を受託しており、当消防本部の管轄区域は、両市町を合わせ人口 52,741 人、世帯数 25,418 世帯、面積 814.26 km²となっています。



平成 29 年 4 月 1 日現在